

計算ができない！

買い物のとき、スマートフォンのアプリや、クレジットカード、プリペイドカードなどを使って、料金を払うことが多くなってきました。小さなお店などでは、現金（キャッシュ）しか使えないところもありますが、多くのお店ではキャッシュレスで払うことができます。とても便利ですが、私たちの暗算の能力は一気に落ちてしまったのではないのでしょうか。「暗算」というのは、計算機を使ったり紙に書いたりしないで、頭の中だけで計算をすることです。

私は、2010年代の前半くらいまでは、買い物のときはいつも現金で払っていました。その頃はよく、こんなことがありました。

店員「1,720円です」

私「はい」

財布の中にちょうど1,720円がないとき、私はおつりでもらう硬貨の数をできるだけ少なくしたいので、暗算をしました。

私「じゃ、これをお願いします」(2,220 円を出す)

店員「2,220 円、お預かりしましたので、500 円のお返しです。」(500 円硬貨を 1 枚出す)

当時のレジは、おつりがいくらになるか自動でわかるものは少なかったのですが、レジの人が素早く暗算をしておつりを用意してくれていました。

しかし、キャッシュレス化が進むにつれて、わたしたち人間の暗算能力は落ちてきているように感じます。私が最初にそれを感じたのは、ある日のコンビニでのやりとりでした。私は、1,620 円の買い物をして、レジで 2,120 円を出しました。しかし、レジの人が「(私の出したお金のうち、120 円を私に返して) これ、多いですよ。こちらの 2,000 円お預かりします。」と言ってレジの機械に 2,000 円だけを入れました。そして、380 円のおつりをくれました。返された 120 円とおつりの 380 円の硬貨が私のところに残りました。

わたしも、他の人のことばかり言っている場合ではありません。毎日のようにキャッシュレスで払っているうちに、簡単な計算にも、ものすごく時間がかかるようになってしまいました。以前は、例えば財布の中に 1,000 円しかない状態でスーパーに行く時は、「卵 180 円、牛乳 195 円…」などと、1,000 円以内になるように暗算をしていました。しかし、つい最近、スマホやクレジットカードを忘れ

て買い物に行ったとき、暗算するのにとても時間がかかりました。(スマホもなかったのもので、計算機も使えなかったのです!) しかも、暗算を間違えてしまい、レジでお金が足りなくなり、恥ずかしい思いをしました。

今から、また全ての買い物の支払いを現金に戻そうとは思いませんが、「買い物」に代わるような暗算の機会を増やさなければいけないなと感じています。

(1024 字)

(2021.11 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.